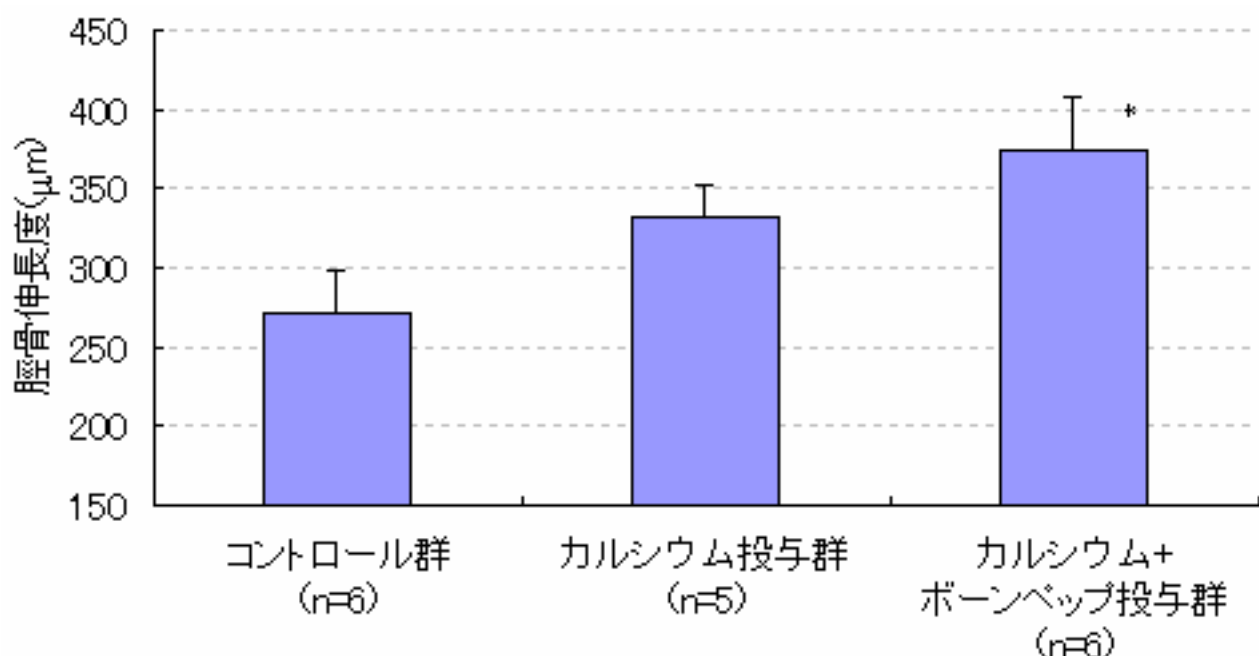


[結果1] ボーンペップとカルシウムの共投与により、骨成長を促すことを確認

低カルシウム食を与えた成長期ラットにカルシウムを摂取させると（カルシウム投与群）、頸骨伸長の傾向はみられましたが有意な差はみられませんでした。しかし、カルシウムにボーンペップを加えて投与（カルシウム+ボーンペップ投与群）したところ、有意な頸骨伸長が確認されました。



*; p<0.05 vs control
(ロート製薬、ファーマフーズ、大韓民国世明大学漢方医学部実施)

[結果2] ボーンペップとカルシウムの共投与により、「骨密度」を高めることを確認

マイクロCTを用いて大腿骨の観察を行ったところ、カルシウム投与群及びカルシウム+ボーンペップ投与群の骨密度は、コントロール群より明らかに高いことが確認できました。また、カルシウム+ボーンペップ投与群は、カルシウム投与群よりも骨密度が高い傾向がみられました。

<マイクロCT写真>

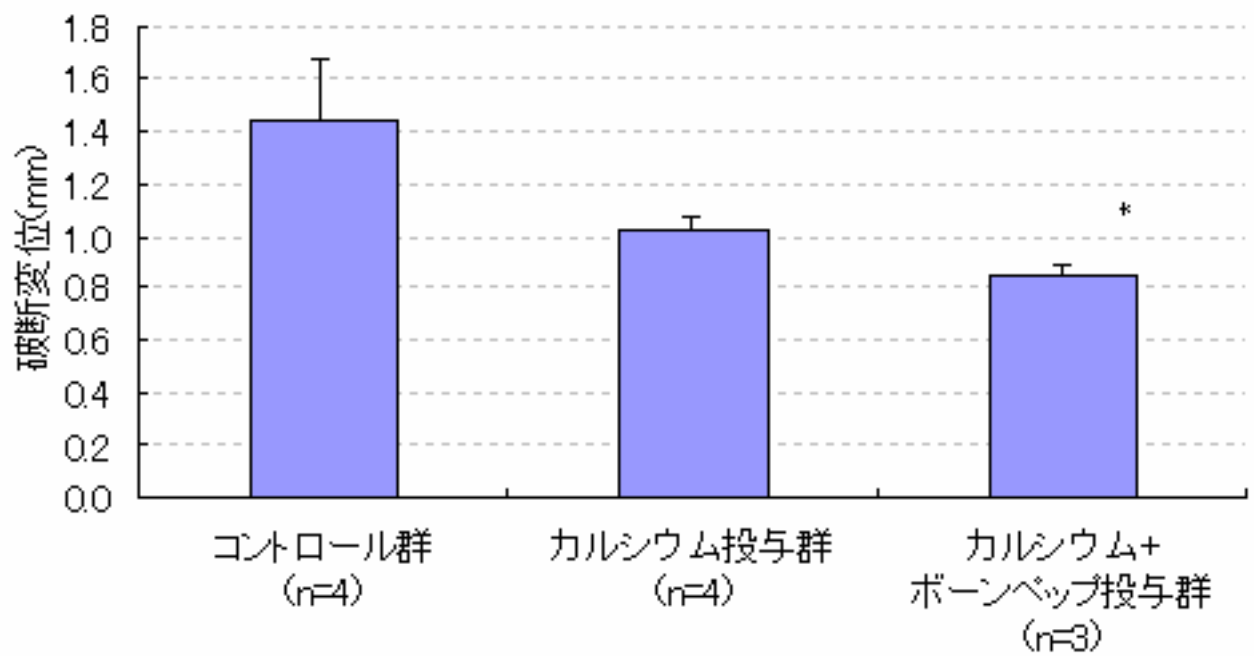
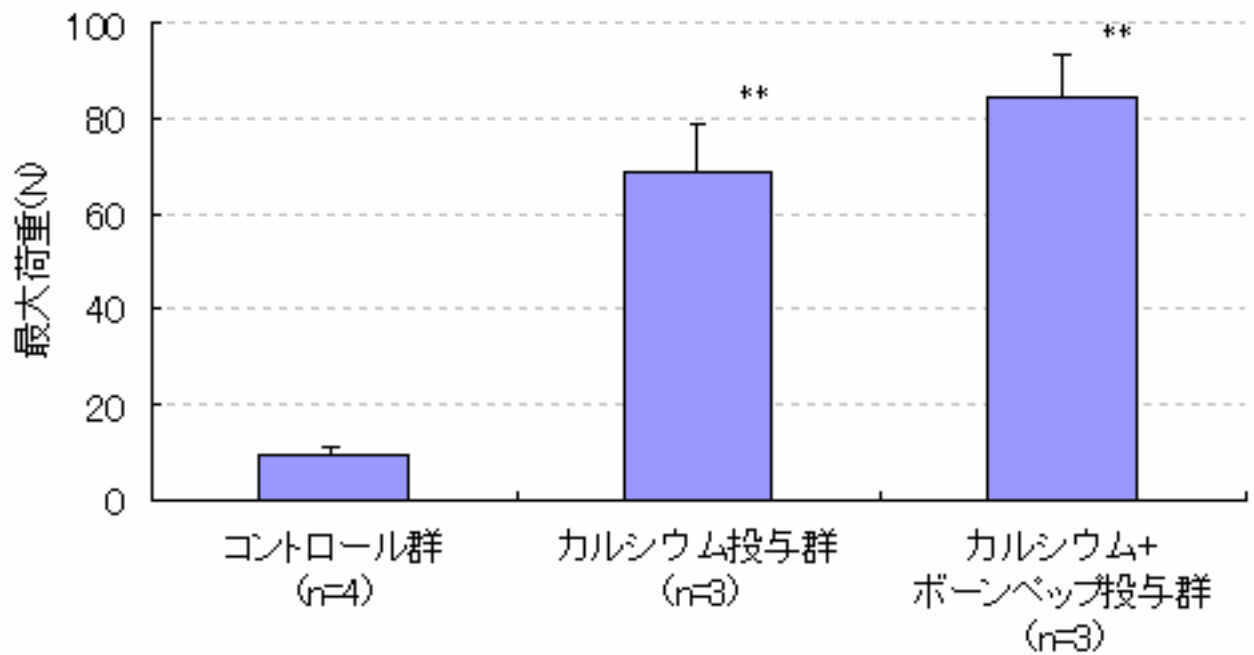


(ロート製薬研究所実施)

[結果3] ボーンペップとカルシウムの共投与により、「骨強度」を高めることを確認

大腿骨の骨強度を測定したところ、骨の強さの指標である最大荷重は、カルシウム投与群及びカルシウム+ボーンペップ投与群で、コントロール群より明らかに高くなることが確認できました。また、骨の柔らかさの指標である破断変位は、カルシウム+ボーンペップ投与群においてのみ、コントロール群と比較して有意に低値を示しました。

<骨強度>



**; p<0.01, *; p<0.05 vs control
(ロート製薬研究所実施)